VASC

A. Churn Rate 改善のために(現状 6 ヶ月以内の離脱率 65%→50%へ)

- 1. なぜ離脱するか?
 - a. オペレーション上の問題
 - 顧客側の遅延か、デリバリー側か⇔messanger で確認
 - a) 何が原因の遅延か
 - b. 顧客のメニューに対する飽き→
 - サインアップ要因と継続要因は違う
 - a) 何が継続の要因か・・・安さ?便利さ?時間帯が選択 できるから?
- 2. どんな顧客が離脱するか
 - ハード面(引越しや人事異動に伴う離脱)とソフト面(飽きや不満 による離脱)
 - a. 過去6ヶ月以内に注文をしていない男性の数
 - b. 過去6ヶ月以内に注文をしていない女性の数 【目的】→性別を意識したメニューを作れるのでは?
 - c. 過去6ヶ月以内に注文をしていない English の数
 - **d.** 過去 6 ヶ月以内に注文をしていない French の数
 - e. 過去 6ヶ月以内に注文をしていない German の数
 - f. 過去 6ヶ月以内に注文をしていない Italian の数
 - g. 過去 6ヶ月以内に注文をしていない European の数
 - h. 過去 6ヶ月以内に注文をしていない South Asian の数
 - i. 過去 6ヶ月以内に注文をしていない Chinese の数
 - j. 過去 6ヶ月以内に注文をしていない Japanese の数
 - k. 過去 6ヶ月以内に注文をしていない East Asians の数

【目的】→国籍を意識したメニューを作れるのでは?

(日本人にはカレーのメニューが人気なのでカレーのメニュ ーバリエーションを増やすなど)

- 1. 過去 6 ヶ月以内の St.Paul エリアで注文をしていない客数
- m. 過去 6 ヶ月以内の Liverpool エリアで注文をしていない客数
- n. 過去 6 ヶ月以内の London Wall エリアで注文をしていない客 数
- o. 過去6ヶ月以内の MUFG エリアで注文をしていない客数
- p. 過去6ヶ月以内の Insurance エリアで注文をしていない客数
- q. 過去 6 ヶ月以内の Monument エリアで注文をしていない客数 【目的】近くに競合が多い(itsu や wasabi など)ことも関連する のかを知れ、競合他社とのメニューの差別化を測れるのでは?
- r. 過去6ヶ月以内に注文をしていない客の継続オーダー数をグラフ化 (例:サインアップから 10 個ぐらいしかオーダーしていないのか、若しくは100個以上オーダーしている客が離脱しているのか)

【目的】新規客が離脱しているのか、継続客が何らかの理由(飽きや転勤)で離脱しているのかを明らかにするため

【長期目標 (ゴール)】

・Python と SQL の実務的な知識を身につけ、実際のデータから顧客分析ができるようになる

【短期目標】

・1月末までに Python と SQL の基礎固める

・2月以降から少しずつデータ解析を行う

・改善策

・デリバリースタッフ用の WASO アプリの作成はどうか
→オーダーシートの情報がアプリに表示され簡易化されるとデリバリー
の準備時間が少なくなるのでは